

公開討論会における 10 の質問

公開討論会終盤に、以下の 10 個の質問に関するご発言のお時間を予定しています。

10 個の質問の中からご発言されたいテーマを最大 2 つまで選択いただき、ご発言ください。なお、ご発言は 1 テーマについて最大 2 分までとさせていただきます。(2 分間までは複数回に分けて発言いただくことも可能です。本セッションでは 2 分×選択した 2 テーマで最大 4 分間の発言時間を予定しています)

本テーマは、事前にワークショップ等を行い、募集したものになります。

① 増加する外国人労働者との共生のための取り組みについて

川口市の芝園団地や、ヤシオスタンと呼ばれることもある八潮市など県内には外国人移住者、労働者の方が多数暮らされています。4 月から改正出入国管理法が施行されたことも受け、今後、県内に暮らす外国人の方はますます増加していくことが予想されます。一方で、外国人移住者の方の子弟などに対する学校でのいじめなども発生しているようです。

今後も、県内に居住する外国人労働者やそのご家族の方が増加していくと思われませんが、共生に向けてどのような取り組みが必要だと考えておられますか。

② 高齢化の急速な進行に伴う医療・介護の取り組みについて

今後、埼玉県では世界でもトップクラスの早さで高齢化が進んでいきます。昨年公表された「第 7 期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について」では 2025 年に埼玉県で 1.6 万人の介護人材の不足が予想されるなど、介護分野では慢性的な人手不足が問題になっており、制度はあるもののサービスを提供することができなくなっているのではないのでしょうか。また、今後、ハードの整備を進めても、人材不足が続く限り利用者が満足するサービスを受けられない可能性が高まるとともに、財政負担も限界を迎えてしまうことはないのでしょうか。

少子高齢化が進む中で急速に高まることが予想される医療・介護のニーズに対してどのような対応をお考えですか。

③ 高齢ドライバー対策について

ここしばらく、高齢ドライバーによる悲惨な事故の報道が続いています。埼

玉県は昨年の交通事故志望者数が全国で 3 番目に多い 175 名であったことに加え、75 歳以上人口の対前年増加率が全国で最も高かったという報道もあり、今後、高齢ドライバーによる問題が多発する可能性がある地域とも言えます。高齢ドライバーによる事故を防止するためのお考えについてお聞かせください。

④ 女性の社会参画と子育て支援について

2015 年の女性の就業率は 64.7%と 2000 年（女性の就業率 55.7%）に比べて 9%上昇しています。同じ期間に埼玉県女性の就業率は 10.9%上昇する等、女性の社会進出が進んでいます。この 10 年間で埼玉県内の保育園の定員は 4.6 万人ほど増加し 1.5 倍以上の規模となったものの、保育所待機児童数は 1,000 名を超える状況が続いています。

女性の社会参画が進むなかで、子育て支援策などの需要も高まっていると思いますが、女性の社会進出に伴う子育て支援の施策についてのお考えをお聞かせください。

⑤ 県内での雇用・就職支援について

地方の中小企業では人材確保に苦勞している企業も多く、なかには人手不足を理由に廃業せざるをえなくなった企業もあります。ハローワークに求人を出しても労働者が同じくらいの時間で出勤することができ、より高い賃金を得られる東京都内に働きに出てしまうことで慢性的な人手不足に悩まされたり、高齢化する従業員の入れ替えをすることのできない事業所が埼玉県内でも山間部を中心に出てきています。また、保育の分野でも東京都内に勤務する県内在住の保育士さんが多く、県内で人材不足になっているとの報道も目にします。

このような状況に対し、県内の企業、特に小規模事業者が長期にわたり事業を続けるための支援策についてどのようなお考えをお持ちですか。

⑥ 教育の ICT 化について

通学している学校に授業用の PC やプロジェクターが設置されましたが、授業で使用する先生がとても限られています。これらの機器を使った授業はわかりやすくまた面白いため多くの授業で使用する欲しいのですが、1/3 程度の先生しか使ってらっしゃらないように思います。これだけ使われないのな

らば、これらの機器を導入する費用を使ってアシスタントティーチャーを増やしたりするなどしたほうが私たちの役に立つのではないかと感じることもあります。

学校外の暮らしの中では ICT の役割がますます高まっていますが、教育の ICT 化についてのお考えをお聞かせください。

⑦ 異常気象などの自然災害への対策について

今年も九州で災害級とされる大雨が続くなど、異常気象が相次いでいます。避難勧告が出されたものの、避難所の収容可能人数が避難対象者数よりも大幅に少ない地域もあったとする報道を目にすることもありました。また、避難生活についても、プライバシーを守ることのできるスペースを確保できるかどうか等、質の部分が避難所によってまちまちとなっている状況もあるようです。今後、埼玉県でも大規模な自然災害が発生する可能性があると思いますが、どのような対策が必要だとお考えられますか。

⑧ 埼玉県の地域デザインについて

県内でも、例えば東西南北などのエリアによって異なる特徴が生じています。人口や所得、税収など、エリアによって様々な違いがあるものと思いますが、その差はすでに「格差」と言えるレベルまで広がっているように感じることもあります。一方で、質問づくりのワークショップでは日本で一番早くなる「わらびリンゴ」が話題になるなど、県内各地にはまだまだ知られていない魅力や地域のお宝がたくさん眠っていることを知ることができました。地域の魅力は積極的に発信していくべきとも思います。

今後の埼玉県の地域デザインについてどのようにお考えになられているのかをお聞かせください。

⑨ 若者向けの政策について

「若者の投票」が促されることがありますが、立候補を表明されている方の発信される政策や情報について、難しかったり、耳慣れない言葉が出てきたりして率直に言って分かりにくいと感じることが多いです。私たち若者は他の世代の方に比べて埼玉県政について学んできた内容も少なく、投票に臨むための負担が大きいです。そこで質問ですが、ご自身の政策や県政にかける思いを若者に伝える工夫は何かされていらっしゃいますか。また、特に若者に

対して訴えたい政策や、若者の利益につながるような政策はありますか。

⑩ 上田県政の評価と埼玉県三大プロジェクトについて

4 期 16 年にわたる上田県政についてどのように評価されていらっしゃるでしょうか。特に、埼玉県三大プロジェクトとされた「埼玉エコタウンプロジェクト」「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」「健康長寿埼玉プロジェクト」についてはどのように引き継がれていけますか。

— 以 上 —